

鼠径ヘルニア(腰麻・局麻)手術を受けられる

様へ(入院診療計画書)

病名等は、現時点で考えられるものであり、今後の検査など進めていくにしたがって変わります。

入院期間については、現時点で予測されるものです。

入院当日は午前8時45分に受付をされてから、1階受付前(畳の所)でお待ち下さい。

入院の際は、この用紙を持参して下さい。

ご不明な点は遠慮なくスタッフにお尋ねください。

主治医 \_\_\_\_\_  
受け持ち看護師 \_\_\_\_\_

患者氏名 \_\_\_\_\_ 様  
家族等氏名 \_\_\_\_\_ 様

(続柄 )

経過	外来～前日	入院当日(手術前)	入院当日(手術後)	術後1日目	術後2日目～退院
月/日	/	/	/	/	/
達成目標	治療について心配なことや不明な点を主治医や看護師に伝えられること。疾患、手術、麻酔についてご本人も家族も理解できていること。		痛みや気分の不快を主治医や看護師に伝えられること。傷口からの出血がおこらないこと。	入院前と同じ日常生活ができること。退院後の生活について不安なことが主治医や看護師に伝えられること。異常時の受診方法を理解できること。	
治療・処置	お薬を飲んでいる方は他院の薬も含めて全て持参してください。その際、お薬手帳があれば一緒にお持ちください。	手術をする部位の毛を剃ります。手術用のガウンに着替えます。	傷には絆創膏を貼ってきます。	回診時に傷の観察を行います。	回診時に傷の観察を行います。
検査	血液検査、心電図、胸・腹X線写真、出血時間の検査をしていただきます。身長と体重を測っていただきます。				
薬・点滴	飲み薬のある方はそのまま飲んで下さい。抗凝固剤や抗血小板剤を飲んでいる方は、お知らせ下さい。抗凝固剤や抗血小板剤は、指示のあった日から中止して下さい。( 月 日から中止)	医師の指示によって朝の飲み薬を中止していただくことがあります。お薬を飲んでいる方は他院の薬も含めすべて持参してください。点滴を開始します。	点滴は続けて行います。痛みがある時は、痛み止めをします。	抗生剤と痛み止めの薬を朝から飲み始めます。抗凝固剤と抗血小板剤以外の飲んでいた薬を再開します。	
食事	入院前日の夜9時以降、食事は食べられません。お水・お茶は飲んでかまいません。	朝6時以降は、お水・お茶も飲みません。	帰室して3時間後よりお水・お茶を飲んでかまいません。帰室3時間後より普通の食事が食べられます。		
排泄			手術室でフォーレ(尿を出すための管)を入れてきます。局所麻酔の方は入ってきません。	フォーレ(尿管)を抜きます。	
安静度		院内でお過ごしください。手術室へは車椅子か移動用のベッドで行きます。 	腰椎麻酔の方はベッドで病室へ戻ります。しばらくは下半身の感覚がありません。ベッド上での寝返りはできません。帰室して6時間後より室内を歩くことができます。局所麻酔の方は車椅子で病室へ戻ります。歩行も可能ですが初回歩行は看護師が付き添います。	院内でお過ごしください。	
清潔	入浴することができます。爪の長い方は切ってください。マニキュアは落としてください。			看護師が体を拭くお手伝いをいたします。	
説明	看護師から、入院の準備について説明があります。医師から入院、手術、麻酔、治療について説明があります。(別紙参照)〈入院時にお持ちいただくもの〉 ・必要時、前あきのシャツ	入院は、ご家族と一緒に来院して下さい。看護師が入院について説明をします。担当看護師がお話をうかがいます。手術同意書に記入したものを看護師にお渡しください。手術前に指輪、入れ歯、眼鏡、時計、ヘアピン等ははずしてください。貴重品は、ご家族にお預けください。手術中、ご家族の方は病室またはデイルームでお待ちください。			退院時間は回診後の午前10時頃の予定です。おおよその入院費用は次のとおりです。(腰椎麻酔の方 3割:7万5千円、1割:2万5千円。局所麻酔の方 3割:5万8千円、1割:2万4千円) 3番窓口でお支払いください。退院後外来受診は 月 日です。抜糸は退院後外来でいたします。傷のところは、そのままシャワーを浴びても心配ありません。お腹に力加わるとような動作はしないで下さい。